計算脳トレプリント

約分を伴う計算①

分数の計算 きまり

1. 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

1. 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

1. 約分できるところがあるかを確認する。

　　　　　　　　　　　　　　　名前

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

１０×

☑乗法だけの式にする

☑答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝ －

＝

(－８)×

＝ ＋

＝

名前

**例題**

８ ×

＝

=

＝ ２

２

１

×９

＝ －

＝

×(－３)

＝ ＋

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算②

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

×

☑乗法だけの式にする

☑答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝ ＋

＝

×

＝ －

＝

名前

**例題**

3

1

－ ×

＝－

＝－

＝－ ３

1

1

×

＝ －

＝

×

＝ ＋

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算③

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

××

☑乗法だけの式にする

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝

＝

××

＝

＝

名前

**例題**

××

＝

＝

１２××

＝

＝

　×(－４)×

＝

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算④

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

(－１０)×

☑乗法だけの式にする

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝

＝

　×１４

＝

＝

名前

**例題**

(－３)××(－５)

＝－

＝－ 　＝ －２

　×

＝

＝

　××

＝

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑤

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

６÷

☑乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝６×

＝

＝

÷(－４)

＝×

＝

＝

名前

逆数

４の逆数　→

－５の逆数　→

の逆数　→

÷

＝ ×

＝

＝

÷

＝ ×

＝

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑥

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

□乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

÷

＝ ×

＝

＝

÷

＝ ×

＝

＝

名前

逆数をかける

÷

＝ ×

÷７

＝ ×

＝

＝

(－４)÷

＝(－４)×

＝

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑦

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

×÷

□乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝××

＝

＝

×÷

＝××

＝

＝

名前

**例題**

－ ÷ 10

＝－ ×

＝－

＝－

(－９)÷×(－３)

＝(－９)××(－３)

＝

＝

(－６)÷×１０

＝(－６)××１０

＝

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑧

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

８×

＝

(－４)÷

＝ (－４)

＝

名前

**例題**

(－５) ÷

＝ (－５) ×

＝ 　＝ １２

＝－

÷

＝

＝

÷

＝

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算①

分数の計算 きまり

1. 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

1. 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

1. 約分できるところがあるかを確認する。

　　　　　　　　　　　　　　　名前

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

１０×

☑乗法だけの式にする

☑答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝ －

＝－２

(－８)×

＝ ＋

＝

名前

**例題**

８ ×

＝

=

＝ ２

２

１

×９

＝ －

＝－

×(－３)

＝ ＋

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算②

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

×

☑乗法だけの式にする

☑答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝ ＋

＝

×

＝ －

＝－

名前

**例題**

3

1

－ ×

＝－

＝－

＝－ ３

1

1

×

＝ －

＝－

×

＝ ＋

＝

計算脳トレプリント

約分を伴う計算③

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

××

☑乗法だけの式にする

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝

＝－

××

＝

＝

名前

**例題**

××

＝

＝

１２××

＝

＝－

　×(－４)×

＝

＝－

計算脳トレプリント

約分を伴う計算④

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

(－１０)×

☑乗法だけの式にする

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝

＝

　×１４

＝

＝－８

名前

**例題**

(－３)××(－５)

＝－

＝－ 　＝ －２

　×

＝

＝

　××

＝

＝－

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑤

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

６÷

☑乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝６×

＝－４

÷(－４)

＝×

＝

名前

逆数

４の逆数　→

－５の逆数　→

の逆数　→

÷

＝ ×

＝－

÷

＝ ×

＝－

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑥

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

□乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

÷

＝ ×

＝－

÷

＝ ×

＝

名前

逆数をかける

÷

＝ ×

÷７

＝ ×

＝－

(－４)÷

＝(－４)×

＝ ６

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑦

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

×÷

□乗法だけの式にする、逆数をかける

□答えの符号が決まる

□約分の確認

□計算する

＝××

＝－

×÷

＝××

＝ ４

名前

**例題**

－ ÷ 10

＝－ ×

＝－

＝－

(－９)÷×(－３)

＝(－９)××(－３)

＝ １８

(－６)÷×１０

＝(－６)××１０

＝－

計算脳トレプリント

約分を伴う計算⑧

分数の計算 きまり

① 乗法と除法の混じった式は、乗法だけの式になおして計算する。

わる数の逆数をかける。

② 積の符号は、負の数が奇数であれば　－(マイナス)

負の数が偶数であれば　＋(プラス)

③ 約分できるところがあるかを確認する。

☆次の計算の続きをしましょう。

の中には符号(＋、－)を書きましょう。

８×

＝－

(－４)÷

＝－６

名前

**例題**

(－５) ÷

＝ (－５) ×

＝ 　＝ １２

＝－

÷

＝－

÷

＝